

I 学校経営計画

1 教育理念

「つながり合い 学び合う」

- ・すべての人が地域の中で自分らしく、つながり合う共生社会の推進に貢献する学校
- ・一人一人の人権・個性を尊重し、自立と社会参加を目指し、仲間と共に学び合える学校

2 学校教育目標

夢に向かって「いきいき」「なかよく」「すこやかに」 学びのびゆく人

小学部 「元気に なかよく 進んで 活動できる児童」

中学部 「自ら動き 仲間とともに 自信をもって生活できる生徒」

高等部 「社会参加を目指し、学校生活・家庭生活・地域生活の中で、自らの力を発揮できる生徒」

3 具現化の柱 〇3年後の目標

【授業】自立に向けた12年間の学びが社会参加につながる学校

- 一人一人が、やりがいと手ごたえのある学校生活を授業が支えている
- 適切な自立活動の目標設定(個別の指導計画)と地域・保護者も参加する教育課程が両立している
- OJTにより教職員が専門性を高めあっている

【連携】地域と学校と家庭とが共に豊かに育つ学校

- キャリアパスポートを活用し、一人一人が自己理解を深め、自分らしく将来のことを夢見ている
- 吉田町に学校があることを活かしたコミュニティスクールが展開している
- 自分の好きや得意をスポーツや芸術、読書で表現しあっている

【安心】自他を大切に作る心と体が育つ学校

- 1年を通して、多方面に身を守るための知識や技術が身につく学習を進めている
- 教職員は、自分事として安全研修、安全訓練、環境整備を進めている
- 教職員は「守るために学ぶ」姿勢を持っている

4 本年度の取組

*「業務改善」について(下線部分)

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
授 業	ア 「やりがいと手ごたえのある」授業の実践	・児童生徒一人一人に合った目標設定と魅力ある教育活動を備えた授業実践 ・できる状況づくりを意識した指導方法や教材の工夫したチームー授業 ・一人一台端末活用推進のための情報発信と環境整備・情報リテラシーの研修及び授業	・どの児童生徒もやりがいと手ごたえを感じて授業に取り組んでいる ・児童生徒は、日々の授業の中で情報機器を活用し、主体的に学んでいる	研修課 情報教育課
	イ 学びが社会参加につながる教育課程の再編	・実態把握に基づく統一様式・個別の指導計画の作成研修及び教育課程(年間指導計画)の整理・改善 ・キャリアCMマップを活用した面談・懇談会・授業づくり等の企画実施 ・計画的に予算執行と適正な事務処理業務の進行	・教職員は、キャリアCMマップを活用し、児童生徒の夢や目標の実現を支えている	教務課 自立活動課 事務部
	ウ 教職員の専門性の向上のためのシステム作り	・よし特校内研修計画を活用した専門的知識及び指導技術の向上のための研修体制づくり ・外部講師による強度行動障害研修 ・PT、OT、STの専門家を招聘した自立活動相談及び研修の実施	・教職員一人一人が主体的に研修に参加し特別支援教育の知識や技術を高めている	管理職 各分掌課 各学部
	ア 児童生徒が主体的に取り組むキャリア教育の推進	・生活年齢や発達段階に応じた学部ごとのキャリア教育職員研修の実施 ・キャリアCMマップを学部会や保護者面談で活用	・児童生徒が学習を記録し、振り返ることによって自己理解を深めている	キャリア教育課

連携		・12年間積み重ねるキャリアパスポートの作成と活用(授業の振り返り、生徒面談等)		
	イ 吉田町の特色を生かしたコミュニティスクールの推進	・学校運営協議会で吉田町の防災計画を踏まえた本校の防災体制・教育を検討・改善する協議 ・外部講師の招聘や地域資源の活用拡大 ・小中高等学校や地域のニーズを踏まえた学校間交流や交流籍を活用した共同学習、地域学習を実施 ・小・中学部の作品交流や高等部の作業製品展示の実施 ・SNSによる学校活動の情報発信	・学校運営協議会の提案により学校の防災力が高まっている ・児童生徒や地域が参加する学習・活動の機会が広がっている ・交流及び共同学習により、互いに成果を確認することができている	防災教育課 地域連携課
	ウ 生活に広がるスポーツ・芸術・読書活動の拡充	・外部団体によるスポーツ、芸術に触れる機会の充実 ・全校で取り組む体育祭の開催 ・読書週間等の、読書に親しむ機会を年間指導計画に位置付ける ・一人一作品、校内外への作品展への参加 ・キャリアパスポートへの記録と振り返り	・どの児童生徒も、体を動かす楽しさや好きな表現方法を見つけている ・どの児童生徒も読んでみたい本や好きな本を見つけている	体育課 図書表現課
安心	ア 学校安全計画の更新と自他を大切にする心の育成	・保健CMマップ、食に関する指導の全体計画の更新と授業での活用 ・人権教育・道徳全体計画を活用した授業の実施と人権チェックによる指導の改善 ・危機管理マニュアルに基づく訓練と研修により、教職員自ら安全行動の習得	・児童生徒は、自他を大切にする知識と行動を身につけている ・教職員は、児童生徒の安全に対する想像力を働かせて、日々の業務にあたっている	生徒指導課 保健給食課 防災教育課
	イ 事故や大規模災害に備えた危機管理体制の強化	・多様な想定した避難訓練と防災学習 ・事故・災害時に備えたスクールバス、自主通学のマニュアル整備と周知 ・定期的な危険予知訓練の実施 ・毎月の各教室、施設の日常及び防災上の安全点検の実施	・児童生徒が自ら命を守る行動をとることができている	
	ウ 守るために学ぶ教職員の育成	・業務内容の見える化と業務分担の定期的な見直し ・新会議計画に基づく休憩時間と授業準備時間の確保 ・校内の職員や外部講師を活用したCARE-UP研修(不祥事根絶研修)を毎月実施 ・多様なグループでの事例検討実施	・教職員は、授業準備や分掌業務に十分取り組んでいる ・教職員は人権感覚を磨き、児童生徒や同僚の人権、多様性を尊重している	管理職 各学部 事務部

※成果目標の評価は、本人・保護者へのアンケートと、授業や指導の中で教職員が見取りをもって行う。